

令和元年7月22日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエイ  
代 表 者 代表取締役社長 加藤 博敏  
(東証第二部・コード番号 4766)  
問 合 せ 先 経営企画部長 阿部 良一  
(TEL 03-5803-6318)

## ふくしま復興塾第7期（令和元年度 福島県 起業意識向上事業）募集開始のお知らせ

### 記

株式会社ピーエイのグループ会社である一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺは、ふくしま復興塾第7期生の募集開始をします。

2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震は、弊社代表取締役社長加藤博敏の出身地である福島県にも多大な苦しみをもたらしました。私共の社員も多く苦難に直面し、震災時、各地域の仲間も一体となって福島県や東北地方を支援し、お客様と共に全社員で苦難を共有し地域で様々な復興支援事業を興しました。その中において、弊社は地域活性化をミッションとし、福島県の復興支援に取り組んでまいりました。

また、加藤博敏による呼びかけで「一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺ」を2015年に設立し、2013年に開塾した「ふくしま復興塾」の運営を引き継ぎ、本年度は第7期を開塾いたします。ついては、以下のとおり塾生を募集しますので、告知などご協力いただけますと幸いです。本年度も福島未来を担う塾生をたくさん迎え、賑やかに開催したいと考えております。皆様からのお力添えをいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【令和元年度 福島県 起業意識向上事業 「ふくしま復興塾第7期」開始について】

#### 1 入塾者募集期間

2019年7月1日（月）～8月5日（月）

※ 期間内にWEBエントリーフォームより必要事項を記入の上お申し込みください。

#### 2 募集要項、実施概要

別添のとおり

#### 3 募集説明会

以下の日程で入塾説明会を開催します。復興塾カリキュラムの説明に加えて、発起人やOBが福島の実況や未来について語ります。

7/25(火) 18:00-20:00 日本橋ふくしま館MIDETTE（東京都中央区）

#### 4 これまでの実績について

ふくしま復興塾は逆境の福島再生を担う新しいリーダーを育てるために、2013年に開塾いたしました。

以来6年間、起業家・行政職員・NPO職員・医療関係者等の多様な塾生が、福島の実況を学び、産官学の福島の多様な領域で活躍する講師から指導を受けながら、福島の主要な課題の解決プランを立案・実践してきました。

累計90名以上の修了生が巣立ち、福島県内外で震災後の福島復興と発展を支える新しいリーダーとなってそれぞれのフィールドで活躍しています。詳細や歴代塾生については、以下のHPから報告書をご覧ください。

## 5 主催

ふくしま復興塾実行委員会、福島県

(※「令和元年度 福島県 起業意識向上事業」の委託を受け実施いたします。)

以上

**ご取材などに関するお問い合わせ先:**

一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺ

ふくしま復興塾事務局 担当:山崎

TEL 090-1934-0506 / mail fukkoujuku@fukushima-challenge.org

ふくしま復興塾HP: <http://fukushima-fj.com/>

# 2019 年度ふくしま復興塾(第 7 期) 募集要項

## 1. 入塾対象者

(1) 既に福島復興や福島の活性に資する事業・プロジェクトに取り組み始めており、持続可能で、より社会的な価値ある事業への発展を考えている者。

(2) 2019年度中に、福島復興や福島の活性に資する事業・プロジェクトを立ち上げる予定の者。(団体や企業に所属している場合でも、立ち上げたい独自プランがある者、新規プロジェクトを立ち上げる意欲のある者。)

※所属・属性は、企業、NPO、公的機関、個人事業主など問いません。

## 2. 募集人数

- ・ 20名程度

## 3. ふくしま復興塾が求める人材像

- ・ 福島復興の志と未来を担う覚悟を持つ者、ふくしま復興塾に主体的に参加する意志を持つ者

## 4. 受講料

- ・ 50,000円 (学生半額 25,000円)

※フィールドワーク費用は別途実費を一部ご負担いただきます。

※企業からの派遣等の場合は、運営費として任意で寄付をいただけますと幸いです。

## 5. 出願方法

- ・ 入塾申し込みフォームより必要事項を記入の上お申し込みください。

→<http://fukushima-fj.com/entry02>

## 6. 出願期間、および選考日程

- ・ 出願書類受付期間：2019年7月1日(月)～8月5日(月)
- ・ 第二次選考(面接など)：書類審査後、順次 2019年8月10日頃までに実施
- ・ 入塾者発表：2019年8月中旬
- ・ 8月31日(土) 入塾者オリエンテーション(郡山市にて)
- ・ 9月14日(土) 開塾式(いわき市にて)、9月15日(日) 双葉郡フィールドワーク  
(10月以降のスケジュールは順次発表)

### ■入塾説明会(参加無料)

県内外で入塾説明会を開催いたします(7/20 郡山市 市民交流プラザ、7/21 いわき市 いわき産業創造館、7/25 東京都 日本橋ふくしま館 MIDETTE)。ふくしま復興塾の説明に加えて、発起人や復興塾 OB などの復興塾関係者が福島の現状や未来について語ります。入塾説明会のスケジュール確認とお申し込みは、以下の URL よりお願いいたします。

→<http://fukushima-fj.com/entry01>

※ふくしま復興塾第7期は「令和元年度 福島県 起業意識向上事業」の委託を受け実施します。

## 2019年度 ふくしま復興塾（第7期） 実施概要

### ■ふくしま復興塾概要

“福島から生み出す新しい未来”復興への志と覚悟を持つリーダー育成プログラム「ふくしま復興塾」

今、福島は歴史的な転換点を迎えています。福島が抱える問題は少子高齢化や過疎化問題、エネルギー問題といった、これからの人類の未来を考えていく上で向き合わなければならない問題です。つまり、福島だけではなく日本や世界にとっても新しい時代へ移行するための転機であると言えるのではないのでしょうか。

このプロジェクトは、福島復興の「志」と福島の未来を切り拓く「覚悟」を持つ者が集い、福島の現状や課題と向き合うことで、福島の復興を実現し日本や世界の新しい未来を生み出していくリーダー育成のためのプログラムです。

福島で未来を創り出そうと考えている者が、福島県内外を飛び回り、福島の現状、そして未来に起こりうることと本気で向き合っていきます。加えて、復興の現場や世界で活躍する経営者や行政職員をメンターに迎えることで、ビジネスと政策の観点から福島復興を実現するための具体的なアウトプットを生み出すことを目指します。

### ■プログラム構成

2019年度のプログラムのゴールは、福島の問題の解決案を立案することです。「解決案」は、卒業後も継続して実現を目指すものとしますが、塾生の所属や属性によってビジネスや政策等の形式は問いません。解決案の立案を目指して、毎月1回の講義や全2回のフィールドワークの他、定期的なメンタリングやフィードバック、復興塾OBとの交流が盛り込まれています。

期間：2019年8月～2019年2月、月1回土曜日に開催（一部、土日祝での合宿、フィールドワークを含む）

場所：講義は郡山市の会議室等を主な会場として実施する。（一部いわきなどで開催予定）

※ふくしま復興塾第7期は「令和元年度 福島県 起業意識向上事業」の委託を受け実施します。

### <予定スケジュール>

8月	<p>■入塾者オリエンテーション</p> <p>1年間のプログラム概要と目的の説明、卒業生の活動発表を通して、最終的なゴールイメージを共有します。自己紹介とメンターを交えてのグループワーク（各塾生の課題や実現したいプロジェクト内容の共有、意見交換）</p>
9月	<p>■開塾式、スタートアップ講義 「福島から起こすイノベーションとその意義」</p> <p>ふくしま復興塾発起人や歴代OBとの顔合わせ、世界の中での「福島の今を生きる」の歴史的意味や福島の問題に関わる意義を学び、考えます。</p> <p>■福島の問題を考えるフィールドワーク</p> <p>福島県相双地域へのフィールドワークを通して、震災～現在の福島の今を学びます。双葉郡で活躍中の復興塾OBを訪問し、課題を共有し、交流します。</p>
10月	<p>■復興における戦略論と、マーケティング</p> <p>復興の文脈における戦略の立案論や、マーケティングのフレームワークを学び、塾生が捉えている課題の解決案を検討します。</p> <p>■中間報告会（非公開、公開）</p> <p>実現したいプロジェクトについて発表し、来場者から広く意見やアドバイスをいただき、プランをブラッシュ</p>

	アップする材料とします。
11月 ～ 1月	<p>■先人の事例研究と、事業計画の講義と実践</p> <p>先人の起業家や、震災後の対応で活躍した行政職員から施策を立案・実行した経験を学びます。</p> <p>塾生のプランをより具体的かつ実行可能なものとするため、事業計画作成を進め、実践をスタートします。</p>
12月	<p>■事例研究フィールドワーク</p> <p>地域課題を政策的・ビジネス的に解決した先進事例を比較対象として、自分の事業構想を深めていきます。</p>
1月	<p>■各塾生のプランに対するフィードバック会</p> <p>プランの現状を塾生相互に共有し、ブラッシュアップします。</p>
2月	<p>■最終発表会</p> <p>ブラッシュアップした事業プラン、政策プランを塾生がプレゼンテーションします。</p>

※ 講義の内容は講師のスケジュールにより一部変更になりますのでご了承ください。

■第6期講師実績紹介（※第7期の講師はスケジュール調整中。）

●新井祐一氏（DENTSU TECHNO CAMP CO., LTD.（株式会社電通から出向中））



出身地は福島県福島市。県立福島高等学校から早稲田大学へ進学。

卒業後は、時事通信社、楽天を経て、現在、電通に勤務。

営業職として大手製薬会社や大手旅行代理店などを担当後、現職のデジタル・ビジネス部門に所属し、多様なクライアントのデジタル・ソリューションの企画開発に従事する。また、開発・運用フェーズでのローコスト・オペレーションの構築も担当。FP（ファイナンシャル・プランナー）資格の取得ほか、グロービス経営大学院大学経営研究科経営専攻（MBA）を修了。

ふくしま復興塾第2期以降、マーケティングの講師を毎年担当している。

●木戸寛孝氏（国際NGO世界連邦運動協会 常務理事、株式会社umar i コンセプター）



1969年生まれ。慶応大学法学部卒後、(株)電通に入社。電通を退社後、1999年10月から2003年3月まで千葉県香取市で農業に従事。2003年11月から、国際NGO・World Federalist Movement of Japanの事務局長として、2002年オランダ・ハーグに常設された国際刑事裁判所(ICC)に日本政府が加盟するためのロビー活動において中心的役割を果たす。(2007年、日本政府はICCに加盟。)

2006年からはコンセプターとして(株)umar i に参画し、コミュニティー事業(丸の内朝大学、六本木農園など)、地域活性事業(三重県、島根県、宮崎県と神社を活用した地域交流プロジェクトなど)、東北震災復興事業(東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクトなど)におけるコンセプトワークを行う。

明治維新の元勳・木戸孝允の直系6代目。ふくしま復興塾第1-3期、第6-7期にて講師を担当。

●平松庚三氏（小僧 com 株式会社 代表取締役会長兼社長、株式会社ライブドアホールディングス 元代表取締役社長）

●藤野英人氏（レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長）

●西久保慎一氏（クイックウェブ株式会社 代表取締役社長、スカイマーク株式会社 元代表取締役社長）

●高橋信太郎氏（Indeed Japan 株式会社 代表取締役ゼネラルマネジャー）



平松庚三氏



藤野英人氏



西久保慎一氏



高橋信太郎氏

■主催団体

＜ふくしま復興塾実行委員会＞



ふくしま復興塾は、福島にゆかりのある経営者を中心とした発起人の呼びかけのもと、一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺに事務局を設置して運営しています。本プロジェクトの運営主体となる事務局と発起人で構成しています。(ふくしま復興塾ホームページ <http://fukushima-fj.com>)

＜福島県＞

福島県では「起業意識向上事業」として、起業希望者の育成や起業関心層の拡大に取り組んでいます。ふくしま復興塾第7期は、本事業の委託を受けて実施されます。

＜一般社団法人ふくしまチャレンジはじめっぺ（事務局）＞

「ふくしまチャレンジはじめっぺ」は、福島の復興支援、社会貢献に寄与するため、福島県を応援する企業や団体等の力を結集するプラットフォームとして2015年に設立され、「ふくしま復興塾」の事務局の役割を持ちます。



代表理事 ふくしま復興塾塾長 加藤博敏 氏（株式会社ピーエイ 代表取締役社長）



1958年 福島県 福島市生れ  
1980年 福島大学経済学部卒業  
1980年 株式会社資生堂入社  
1986年 有限会社ピーエイ設立、代表取締役社長  
2015年 株式会社ピーエイ東証二部上場、代表取締役社長

ふくしま復興塾実行委員長 木幡仁一氏（木幡仁一税理士事務所 代表取締役税理士）



1957年 福島県須賀川市生れ  
1980年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業  
1985年 株式会社住友ビジネスコンサルティング株式会社入社  
1993年 木幡仁一税理士事務所開業  
税理士・公益社団法人日本生産性本部認定経営コンサルタント・ITコーディネータ

■ふくしま復興塾発起人（所属 50 音順）

上昌広（特定非営利活動法人 医療ガバナンス研究所 理事長）

山田純（元クアルコムジャパン株式会社 会長兼社長）

木幡仁一（さくら中央税理士法人 いわき中央事務所代表）

佐藤俊和（ジョルダン株式会社 代表取締役社長）

佐藤恵一（東和株式会社 代表取締役社長）

池田弘（学校法人 新潟総合学園総長）

井上健（日本電設工業株式会社 顧問）

矢内廣（ぴあ株式会社 代表取締役社長）

加藤博敏（株式会社ピーエイ 代表取締役社長）

高橋仁（株式会社 ミュゼプラチナム顧問）

丹波史紀（立命館大学准教授）

## ■協力

有限責任監査法人トーマツ様

トーマツ様には第2期からメンターとして協力いただいています。塾生の事業計画策定やプランのブラッシュアップへ、個別またはグループ単位で指導を行っていただいています。

## ■ご協賛

キリン株式会社様、ヤフー株式会社様（2018年）

「東北復興 キリン絆プロジェクト」 および 「～3.11 企画～ 寄付は応援になる」

Yahoo! ネット募金（2018年～ 継続） <https://donation.yahoo.co.jp/detail/5158001/>

## ■6年間の実績、塾生プロジェクト紹介

2013年から2017年の第1-5期までをまとめた「ふくしま復興塾-5年間の軌跡-第4・5期事業報告書」、2018年度の「ふくしま復興塾第6期 事業報告書」を以下のURLにてご覧いただけます。

●<http://fukushima-fj.com/>ふくしま復興塾-5年間の軌跡-第4・5期事業報告

PDF ファイル版のダウンロード (<http://xfs.jp/MVySWc>)

●<http://fukushima-fj.com/>ふくしま復興塾-第6期-事業報告書

PDF ファイル版のダウンロード (<http://xfs.jp/x5y1gA>)

